学校番号	３１２

令和２年度　外国語科

教科	科目	単位数	指導学年	教材名・副教材名
英語	コミュニケーション英語Ⅰ	3	第１学年	・増進堂「FLEX English Communication Ⅰ」 ・学研「アクティブ　英単熟語１１００１」 ・第一学習社「Active Listening 1」

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・英語はスポーツであるという考えを基に、オーバーラッピングやシャドウィングを駆使して、リプロダクションやリテリングを目標にします。心と身体を精一杯用いて、コミュニケーションをとるよう心がけましょう。

・コミュニケーション英語Ⅰは「話すこと（アウトプット)」「書くこと」、「聞くこと（インプット)」、「読むこと」という４技能の力をつける授業です。言語活動を多く行うことで、英語そのものに慣れ親しんでもらいます。授業では活動に積極的に参加しましょう。

・英語の語彙や文法については、特に語順に注意を払い、インプット・アオウトプット共に、段階を踏んで力を上げていきます。英語の情報・意味を伝える語順を身体に染み込ませていきます。

・音読は外国語学習の中でとても大切な練習のひとつです。英語のリズムやイントネーションに気をつけ、イメージをもちながら、聞いている人にきちんと伝わるような音読を心がけましょう。

２ 学習の到達目標（CAN-DO リストによる当該学年の４技能の到達目標）

【第１学年】履修科目：「コミュニケーション英語Ⅰ」（３単位）

及び「英語表現Ⅰ」（２単位）

主な教材：上記科目の教科書、教科書の内容に関連した副教材

話すこと		書くこと		聞くこと		読むこと	
学習到達目標	科目・評価	学習到達目標	科目・評価	学習到達目標	科目・評価	学習到達目標	科目・評価
・聞いたり読んだりしたこと、学んだことや経験 したことに基づき 、考えなどについて、意見の交換をしたりすることができる。 ・事実に基づいて自分の意見を述べることができる。 ・リズムやイントネーションなどの英語の音声的な特徴，話す速度，声の大きさなどに注意しながら話そうとすることができる.	コミュニケーション英語Ⅰ・英語表現Ⅰ インタビューテスト スピーチ	・聞いたり読んだりしたこと、学んだことや経験 したことに基づき、考えなどについて、意見を簡潔に書くことができる。 ・すでに学習した文法や表現を正しく用いて文章を書くことができる。	コミュニケーション英語Ⅰ・英語表現Ⅰ 定期考査 レポート	・事物に関する紹介や対話などを聞いて、情報や考えなどの概要をとらえることができる。 ・事物に関する紹介や対話などを聞いて、必要な情報などをとらえることができる。 ・リズムやイントネーションなどの英語の音声的な特徴に注意しながら聞こうとすることができる.	コミュニケーション英語Ⅰ・英語表現Ⅰ リスニングテスト	・説明や物語などを読んで、情報や考えなどの概要をとらえることができる。 ・説明や物語などを読んで、情報や考えなどの要点や詳細をとらえることができる。 ・内容の要点を示す語句や文，つながりを示す語句などを意識しながら読むことができる	コミュニケーション英語Ⅰ・英語表現Ⅰ 音読テスト 定期考査 レポート

3 学習評価(評価の観点と実施方法)

観点	コミュニケーションへの関心・意欲・態度	外国語表現の能力	外国語理解の能力	言語や文化についての知識・理解
実施方法	コミュニケーションに関心を持ち、積極的に言語活動を行い、コミュニケーションを図ろうとしているかを的確に評価できる方法で実施。	CAN-DO リストによる「話すこと」と「書くこと」の到達目標を明確に評価できる方法で実施。	CAN-DO リストによる「聞くこと」と「読むこと」の到達目標を的確に評価できる方法で実施。	英語やその運用についての知識を身につけているとともに、その背景にある文化などを理解しているかどうかを的確に判断できる方法で実施。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。 学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。				

4　学習の活動

単元 (配当時間)	題材内容	単元の目標	主な学習内容	単元の評価規準	評価方法
Lesson 1 (10 時間)	くまモンとは，どんなキャラクターなのか、また日本だけでなく，世界でも人気である背景を読みとる。	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		・ペア・ワークにおいて、互いに協力しながら音読や会話を続ける。	・セクションごとに音読したり内容に対する感想や意見について話し、ペアで伝え合う。	・ペアワークについて、お互いに協力しながら、音読や会話を続けている。	・ペアでの言語活動を観察する。
		「外国語表現の能力」			
		・レッスンの要約が書け、口頭でリプロダクションできるようにする。	・要約などを利用して、ペアでセクションごとに概要を把握し伝え合う。	・くまモンの特徴を英語で説明ができる。 ・くまモンが国内外で人気となった背景をグループで共有できる。 ・くまモンが成功したきっかけを英語で説明できる。	レッスンの最後にある問題を使って質問を考え、ペアで意見を言い合う。
		「外国語理解の能力」			
		・くまモンとは，どんなキャラクターなのかを読み取る。	・セクションごとに、サマリーチャートを使いながら、本文内容の概要を把握する。	・くまモンとは，どんなキャラクターなのか、また日本だけでなく，世界でも人気である背景を読みとる。ことができる。	・定期テストの筆記テストにおいて、内容理解を問う出題により、内容理解ができているかを判断する。
		「言語や文化についての知識・理解」			
		・受け身について理解する。 ・to 不定詞の用法を理解する。 ・動名詞の用法を理解する。	・本文で用いられている意味や用法を確認する。	**受け身について理解する。 ・to 不定詞の用法を理解する。 ・動名詞の用法を理解する。**	・言語の使用場面と働きを意識した定期テストの筆答テストにおいて、知識が身についているかを判断する。
Lesson 2 (10 時間)	試合や競技で勝つためには，脳が密接に関わっており、“in the zone” とは，どういったことなのかを読み取ろうと努めている。	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		・ペア・ワークにおいて、互いに協力しながら音読や会話を続ける。	・セクションごとに音読したり内容に対する感想や意見について話し、ペアで伝え合う。	・ペアワークについて、お互いに協力しながら、音読や会話を続けている。	・ペアでの言語活動を観察する。
		「外国語表現の能力」			
		・教科書の要約などを使って、レッスンの要約が書け、口頭でリプロダクションできるようにする。	・教科書の要約などを利用して、ペアでセクションごとに概要を把握し伝え合う。	・スポーツが上達するにはどうすれば良いか，効率的な方法をグループで話し合うことができる	・ペアでの言語活動を観察する。 ・スピーチ原稿を提出させ、その内容を取り組み状況の判断材料として活用する。
		「外国語理解の能力」			
		・試合や競技で勝つためには，脳が密接に関わっていることを読み取る。	・セクションごとに、サマリーチャートを使いながら、本文内容の概要を把握する。	・大きな目標を遂げるためには，脳をどのように働かせるか，その工夫を理解しようと努めている。を読み取ることができる。	・定期テストの筆記テストにおいて、内容理解を問う出題により、内容理解ができているかを判断する。
		「言語や文化についての知識・理解」			

		・進行形を理解する。 ・分詞の用法を理解する。	・本文で用いられている意味や用法を確認する。	・進行形を理解している。 ・分詞の用法（を理解している。	・言語の使用場面と働きを意識した定期テストの筆答テストにおいて、知識が身についているかを判断する。

単元 (配当時間)	題材内容	単元の目標	主な学習内容	単元の評価規準	評価方法
Lesson 3 (10 時間)	環境にやさしいエネルギーに関する問題点や、なぜ日本は石炭や石油の主な輸入国となっているのかを読み取る。	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		・ペア・ワークにおいて、互いに協力しながら音読や会話を続ける。	・セクションごとに音読したり内容に対する感想や意見について話し、ペアで伝え合う。	・ペアワークについて、お互いに協力しながら、音読や会話を続けている。	・ペアでの言語活動を観察する。
		「外国語表現の能力」			
		・教科書の要約などを使って、レッスンの要約が書け、口頭でリプロダクションできるようにする。	・教科書の要約などを利用して、ペアでセクションごとに概要を把握し伝え合う。	・イラストを使って本文の内容を英語で説明することができる。	下記の教科書のパートを利用して言語活動を観察する。 ・Q&A making ・Discussion
		「外国語理解の能力」			
		・環境にやさしいエネルギーに関する問題点を読み取ろうと努めているを理解する。	・セクションごとに、サマリーチャートを使いながら、本文内容の概要を把握する。	・環境にやさしいエネルギーの長所・短所をペアで挙げていくことができる。	・定期テストの筆記テストにおいて、内容理解を問う出題により、内容理解ができているかを判断する。
		「言語や文化についての知識・理解」			
		・助動詞を理解する。 ・名詞＋分詞区句を理解する。 ・現在完了を理解する。	・本文で用いられている意味や用法を確認する。	**各文法事項の用法を正確に理解し，適切に使うことができる**	・言語の使用場面と働きを意識した定期テストの筆答テストにおいて、知識が身についているかを判断する。
Lesson 4 (10 時間)	マララがどのような環境下で生まれ育ったか，教育を受けたいという，マララの願いを読む。	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		・ペア・ワークにおいて、互いに協力しながら音読や会話を続ける。	・セクションごとに音読したり内容に対する感想や意見について話し、ペアで伝え合う。	・ペアワークについて、お互いに協力しながら、音読や会話を続けている。	・ペアでの言語活動を観察する。
		「外国語表現の能力」			
		・教科書の要約などを使って、レッスンの要約が書け、口頭でリプロダクションできるようにする。 ・生物の生態について疑問に思うことを挙げて，グループで話し合う。	・教科書の要約などを利用して、ペアでセクションごとに概要を把握し伝え合う。	・マララはメディアを通じて，どのようなことを伝えたと考えられるか，グループで意見を交換することができる。	・ペアでの言語活動を観察する。 ・ワークシートを提出させ、その内容を取り組み状況の判断材料として活用する。
		「外国語理解の能力」			
		・マララがどのような環境下で生まれ育ったかについて理解する。	・セクションごとに、サマリーチャートを使いながら、本文内容の概要を把握する。	・マララがどのような環境下で生まれ育ったかについて理解することができる。	・定期テストの筆記テストにおいて、内容理解を問う出題により、内容理解ができているかを判断する。
		「言語や文化についての知識・理解」			
		・関係代名詞を理解する。 ・過去完了を理解する。 ・関係代名詞 what を理解する。	・本文で用いられている意味や用法を確認する。	**・関係代名詞を理解できる。 ・過去完了を理解できる。 ・関係代名詞 what を理解できる。**	・言語の使用場面と働きを意識した定期テストの筆答テストにおいて、知識が身についているかを判断する。

単元 (配当時間)	題材内容	単元の目標	主な学習内容	単元の評価規準	評価方法
Lesson 5 (10 時間)	富士山の特徴や日本文化としての富士山の存在や富士山へ登るのは，どのような歴史的な背景があったかを読み取る。	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		・ペア・ワークにおいて、互いに協力しながら音読や会話を続ける。	・セクションごとに音読したり内容に対する感想や意見について話し、ペアで伝え合う。	・ペアワークについて、お互いに協力しながら、音読や会話を続けている。	・ペアでの言語活動を観察する。
		「外国語表現の能力」			
		・教科書の要約などを使って、レッスンの要約が書け、口頭でリプロダクションできるようにする。	・教科書の要約などを利用して、ペアでセクションごとに概要を把握し伝え合う。	・イラストを使って本文の内容を英語で説明することができる。	・下記の教科書のパートを利用して言語活動を観察する。 ・Q&A making ・Discussion
		「外国語理解の能力」			
		・富士山の文化としての位置づけを読み取る。	・セクションごとに、サマリーチャートを使いながら、本文内容の概要を把握する。	・富士山の文化としての位置づけを読み取ることができる。	・定期テストの筆記テストにおいて、内容理解を問う出題により、内容理解ができているかを判断する。
		「言語や文化についての知識・理解」			
		・同格 that を理解する。 ・原形不定詞を理解する。 ・形式主語を理解する。	・本文で用いられている意味や用法を確認する。	**・同格 that を理解している。 ・原形不定詞を理解している。 ・形式主語を理解している。**	・言語の使用場面と働きを意識した定期テストの筆答テストにおいて、知識が身についているかを判断する。
Lesson 6 (11 時間)	ドナルド・キーンとはどのような人物か，また彼は日本文学を世界にどのように広めたかについて読む。	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		・ペア・ワークにおいて、互いに協力しながら音読や会話を続ける。	・セクションごとに音読したり内容に対する感想や意見について話し、ペアで伝え合う。	・ペアワークについて、お互いに協力しながら、音読や会話を続けている。	・ペアでの言語活動を観察する。
		「外国語表現の能力」			
		・教科書の要約などを使って、レッスンの要約が書け、口頭でリプロダクションできるようにする。	・教科書の要約などを利用して、ペアでセクションごとに概要を把握し伝え合う。	・ドナルド・キーンが日本文学と出会ったきっかけを本紙の写真をもとに，リテリングすることができる。	・下記の教科書のパートを利用して言語活動を観察する。 ・Q&A making ・Discussion
		「外国語理解の能力」			
		・ドナルド・キーンとはどのような人物か，また彼は日本文学を世界にどのように広めたかについて読み取る。	・セクションごとに、サマリーチャートを使いながら、本文内容の概要を把握する。	・ドナルド・キーンとはどのような人物か，また彼は日本文学を世界にどのように広めたかについて読み取るができる.	・定期テストの筆記テストにおいて、内容理解を問う出題により、内容理解ができているかを判断する。
		「言語や文化についての知識・理解」			
		・強調構文を理解する。 ・受け身の進行形を理解する。 ・付帯状況を理解する。	・本文で用いられている意味や用法を確認する。	・強調構文を理解している。 ・受け身の進行形を理解している。 ・付帯状況を理解している。	・言語の使用場面と働きを意識した定期テストの筆答テストにおいて、知識が身についているかを判断する。

単元 (配当時間)	題材内容	単元の目標	主な学習内容	単元の評価規準	評価方法
Lesson 7 (10 時間)	「仮想水」とは何か、日本はなぜ仮想水を多く使用しているのか，その背景を読む。	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		・ペア・ワークにおいて、互いに協力しながら音読や会話を続ける。	・セクションごとに音読したり内容に対する感想や意見について話し、ペアで伝え合う。	・ペアワークについて、お互いに協力しながら、音読や会話を続けている。	・ペアでの言語活動を観察する。
		「外国語表現の能力」			
		・教科書の要約などを使って、レッスンの要約が書け、口頭でリプロダクションできるようにする。	・教科書の要約などを利用して、ペアでセクションごとに概要を把握し伝え合う。	・仮想水とはどのようなことを指しているのか,日本国内における仮想水の問題点を説明することができる。	・下記の教科書のパートを利用して言語活動を観察する。 ・Q&A making ・Discussion
		「外国語理解の能力」			
		・「仮想水」とは何か、日本はなぜ仮想水を多く使用しているのか，その背景を読み取る。	・「仮想水」とは何か、日本はなぜ仮想水を多く使用しているのか，その背景を理解する。	・「仮想水」とは何か、日本はなぜ仮想水を多く使用しているのか，その背景を読む。を読み取ることができる。	・定期テストの筆記テストにおいて、内容理解を問う出題により、内容理解ができているかを判断する。
		「言語や文化についての知識・理解」			
		・関係代名詞非制限用法を理解する。 ・ 前置詞＋関係代名詞を理解する。 ・関係副詞を理解する。	・本文で用いられている意味や用法を確認する。	**・関係代名詞非制限用法を理解している。 ・ 前置詞＋関係代名詞を理解している。 ・関係副詞を理解している。**	・言語の使用場面と働きを意識した定期テストの筆答テストにおいて、知識が身についているかを判断する。
Lesson 8 (11 時間)	山海教授が開発した HAL と呼ばれるロボットについて、日本の出生率が低下することで，どのような問題が起こりうるかを読む。	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		・ペア・ワークにおいて、互いに協力しながら音読や会話を続ける。	・セクションごとに音読したり内容に対する感想や意見について話し、ペアで伝え合う。	・ペアワークについて、お互いに協力しながら、音読や会話を続けている。	・ペアでの言語活動を観察する。
		「外国語表現の能力」			
		・教科書の要約などを使って、レッスンの要約が書け、口頭でリプロダクションできるようにする。	・教科書の要約などを利用して、ペアでセクションごとに概要を把握し伝え合う。	・本文の内容についての英問英答や，知り得た情報の英語による説明ができる。	・下記の教科書のパートを利用して言語活動を観察する。 ・Q&A making ・Discussion
		「外国語理解の能力」			
		・山海教授が開発した HAL と呼ばれるロボットについて、日本の出生率が低下することで，どのような問題が起こりうるかを読みとる。	・セクションごとに、サマリーチャートを使いながら、本文内容の概要を把握する。	・山海教授が開発した HAL と呼ばれるロボットについて、日本の出生率が低下することで，どのような問題が起こりうるかを読み取ることができる。	・定期テストの筆記テストにおいて、内容理解を問う出題により、内容理解ができているかを判断する。
		「言語や文化についての知識・理解」			
		・仮定法過去を理解する。 ・関係副詞の非制限用法を理解する。 ・仮定法過去完了を理解する。	・本文で用いられている意味や用法を確認する。	・仮定法過去を理解できる。 ・関係副詞の非制限用法を理解できる。 ・仮定法過去完了を理解できる。	・ 言語の使用場面と働きを意識した定期テストの筆答テストにおいて、知識が身についているかを判断する。

単元 (配当時間)	題材内容	単元の目標	主な学習内容	単元の評価規準	評価方法
Lesson 9 (11 時間)	「バイオミミクリー」とは何か、バイオミミクリーは私たちのどのような問題を解決してくれるかを読む。	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		・ペア・ワークにおいて、互いに協力しながら音読や会話を続ける。	・セクションごとに音読したり内容に対する感想や意見について話し、ペアで伝え合う。	・ペアワークについて、お互いに協力しながら、音読や会話を続けている。	・ペアでの言語活動を観察する。
		「外国語表現の能力」			
		・教科書の要約などを使って、レッスンの要約が書け、口頭でリプロダクションできるようにする。	・教科書の要約などを利用して、ペアでセクションごとに概要を把握し伝え合う。	・身の回りでバイオミミクリーの原理が使われていそうな物をグループで探し出し，発表することができる	・下記の教科書のパートを利用して言語活動を観察する。 ・Q&A making ・Discussion
		「外国語理解の能力」			
		・「バイオミミクリー」とは何か、バイオミミクリーは私たちのどのような問題を解決してくれるかを読み取る。	・「バイオミミクリー」とは何か、バイオミミクリーは私たちのどのような問題を解決してくれるかを理解する。	・「バイオミミクリー」とは何か、バイオミミクリーは私たちのどのような問題を解決してくれるかを理解している	・定期テストの筆記テストにおいて、内容理解を問う出題により、内容理解ができているかを判断する。
		「言語や文化についての知識・理解」			
		・知覚動詞を理解する。 ・if 節のない仮定法を理解する。 ・分詞構文を理解する。	・本文で用いられている意味や用法を確認する。	**・知覚動詞を理解している。 ・if 節のない仮定法を理解している。 ・分詞構文を理解している。**	・言語の使用場面と働きを意識した定期テストの筆答テストにおいて、知識が身についているかを判断する。
Lesson 10 (11 時間)	・ダライ・ラマ 14 世は世界でどのように知られているか、平和を築いていくためには何が大切かを読む。	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		・ペア・ワークにおいて、互いに協力しながら音読や会話を続ける。	・セクションごとに音読したり内容に対する感想や意見について話し、ペアで伝え合う。	・ペアワークについて、お互いに協力しながら、音読や会話を続けている。	・ペアでの言語活動を観察する。
		「外国語表現の能力」			
		・教科書の要約などを使って、レッスンの要約が書け、口頭でリプロダクションできるようにする。	・教科書の要約などを利用して、ペアでセクションごとに概要を把握し伝え合う。	・ダライ・ラマ 14 世の生い立ちや育った環境や、ダライ・ラマ 14 世がノーベル平和賞を受賞した背景について説明することができる	・下記の教科書のパートを利用して言語活動を観察する。 ・Q&A making ・Discussion
		「外国語理解の能力」			
		・ダライ・ラマ 14 世は世界でどのように知られているか、平和を築いていくためには何が大切かを読み取る。	・ダライ・ラマ 14 世は世界でどのように知られているか、平和を築いていくためには何が大切かについて理解する	・ダライ・ラマ 14 世は世界でどのように知られているか、平和を築いていくためには何が大切かについて理解しようとしている。	・定期テストの筆記テストにおいて、内容理解を問う出題により、内容理解ができているかを判断する。
		「言語や文化についての知識・理解」			
		・部分否定を理解する。 ・複合関係代名詞を理解する。 ・分詞構文の受け身を理解する。	・本文で用いられている意味や用法を確認する。	**・部分否定を理解している。 ・複合関係代名詞を理解している。 ・分詞構文の受け身を理解している。**	・言語の使用場面と働きを意識した定期テストの筆答テストにおいて、知識が身についているかを判断する。